



平成 22 年 5 月 12 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 執行役員財務経理部長 筒井 俊光
電話 03-6803-3970

業績予想の修正及び特別利益、特別損失の発生並びに
連結子会社に係る繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 2 日付「業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表いたしました個別業績予想並びに平成 22 年 2 月 9 日付「業績予想の修正及び特別損失並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ」にて発表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正すると共に、特別利益、特別損失並びに繰延税金資産の取崩しについてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期連結業績予想の修正

(1) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	300	200	80
今回発表予想 (B)	12,624	122	28	25
増減額 (B - A)	△376	△178	△172	△55
増減率	△2.9%	△59.3%	△86.0%	△68.8%

(2) 修正の理由

売上高につきましては、前回予想を 376 百万円下回る 12,624 百万円となる見込みであり、営業利益及び経常利益につきましては、当グループの中で比較的高い利益率を維持していたネットビジネス事業の広告部門における収益が減少したことに加え、プロダクトソリューション事業部門におけるソフトウェアの開発費負担が増加したこと等により、営業利益は前回予想比 178 百万円減の 122 百万円、経常利益は前回予想比 172 百万円減の 28 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、子会社株式売却益 257 百万円の計上(3. 特別利益の計上ご参照)及び子会社株式売却損 149 百万円の計上(4. 特別損失の計上ご参照)並びに繰延税金資産 129 百万円の取崩し(5. 連結子会社に係る繰延税金資産の取崩しご参照)等により、前回予想比 55 百万円減の 25 百万円となる見込みであります。

(3) 前期の実績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	16,403	607	545	3

2. 平成 22 年 3 月期個別業績予想の修正

(1) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	12,200	450	450	150
今回発表予想 (B)	10,774	352	393	232
増減額 (B - A)	△1,426	△98	△57	82
増減率	△11.7%	△21.8%	△12.7%	54.7%

(2) 修正の理由

売上高、営業利益及び経常利益の修正につきましては、当社移動体通信事業併売店部門を会社分割したことによるものです (平成 22 年 3 月 1 日付「当社移動体通信事業併売店部門の会社分割に関するお知らせ」ご参照)。当期純利益につきましては、関係会社株式売却益 274 百万円の計上(3. 特別利益の計上ご参照)及び関係会社株式売却損 195 百万円の計上 (4. 特別損失の計上ご参照) により前回予想比 82 百万円増の 232 百万円となる見込みであります。

(3) 前期の実績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	13,505	296	314	△86

3. 特別利益の計上

連結子会社(株)キャリアフリー株式の譲渡に伴い、平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結決算におきまして子会社株式売却益 257 百万円、同個別決算におきまして関係会社株式売却益 274 百万円を特別利益に計上する見込みであります。

4. 特別損失の計上

(1) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、回復が認められないと判断されるものにつきまして減損処理を行いました結果、平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結決算におきまして、投資有価証券評価損 59 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

①平成 22 年 3 月期第 4 四半期における有価証券評価損

	個別	連結
(A)平成 22 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（=イ-ロ）	1 百万円	59 百万円
(イ)平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	5 百万円	64 百万円
(ロ)直前四半期（平成 22 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	4 百万円	5 百万円

②純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B)平成 21 年 3 月期末の純資産額	2,020 百万円	2,651 百万円
(A/B×100)	0.0%	2.2%
(イ/B×100)	0.2%	2.4%
(C)平成 21 年 3 月期の経常利益額	314 百万円	545 百万円
(A/C×100)	0.3%	10.8%
(イ/C×100)	1.6%	11.7%
(D)平成 21 年 3 月期の当期純利益額	△86 百万円	3 百万円
(A/D×100)	－%	－%
(イ/D×100)	－%	－%

※四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

(2) 子会社株式売却損

連結子会社(株)モバイル・テクニカ株式の譲渡に伴い、平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結決算におきまして子会社株式売却損 149 百万円、同個別決算におきまして関係会社株式売却損 195 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(3) 貸倒引当金繰入額

個々の貸付債権及び営業債権に対する回収可能性を精査しました結果、平成 22 年 3 月期第 4 四半期個別決算におきまして、貸倒引当金繰入額 141 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(4) 減損損失

当社及び連結子会社が保有する固定資産のうち、収益性が低下したものにつきまして、減損の認識、測定を行ないました結果、平成 22 年 3 月期第 4 四半期連結決算におきまして、減損損失

138 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

5. 連結子会社に係る繰延税金資産の取崩し

連結子会社(株)ネプロアイティにおきまして、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討しました結果、平成 22 年 3 月期第 4 四半期におきまして、繰延税金資産約 129 百万円を取崩すことにいたしました。

(注) 上記の予想及び見込みは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の数値は、今後の様々な要因により、上記予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上